

患者説明文書

NPM1 変異陽性急性骨髄性白血病のサブタイプに関する後方視的な検討 臨床研究へのご協力をお願い

1. 研究の目的と方法

急性骨髄性白血病(AML)の約 30%に NPM1 の遺伝子変異が関与していると言われてい
ます。NPM1 変異をもつ AML は細胞の特徴から Monocytic サブタイプ、APL-like サブタイ
プ、non APL-like サブタイプに分けられます。現在のところこれらのサブタイプによる白
血病の特徴の違いに関してはあまり知られていません。そこで 2016 年 10 月から 2021 年
12 月の間に当院で診断・治療を行った AML 症例の中で NPM1 変異をもつ症例を対象に、
症状や特徴に関して調べます。それらをサブタイプごとに比較することでそれぞれのサブ
タイプの特徴や予後を明らかにすることを目標としています。

2. 実施担当医師

京都第一赤十字病院血液内科 研究統括医師：中村隆久(医員)

研究分担医師：内山人二(部長)、岩井俊樹(副部長)、松本洋典(副部長)、古林 勉(副部
長)、大城宗生(医長)、中山里菜(専攻医)、加藤大思(専攻医)

3. 研究の方法

2016 年 10 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日に当科で経験した、急性骨髄性白血病の患者様
を対象として、カルテから得られる臨床所見(採血所見、骨髄所見、分子生物学的所見)を
解析します。本研究の結果は、個人情報保護に十分な配慮を行った形で、学会発表、医学
論文として公表する予定です。

4. 患者さんの利益、不利益(リスク)および同意取得

本研究は、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者さんへ利益も不利益も生じません。
本研究の参加に関しては、本掲示をもって文書同意に変えますが、同意を頂けない場合は、
研究への参加を取り消しますので、下記までご連絡下さい。

5. 研究事務局、患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町 15 丁目 749 番地 京都第一赤十字病院血液内科

電話 075-561-1121(代表) FAX 075-561-6308

研究統括医師 中村 隆久